

第2学年学級活動（2）指導案

児童 男子8名 女子7名 計15名

指導者 小田島 幸江

1 題材 自分のよさ・友だちのよさを発見しよう～きらきらハンター大作戦～

学級活動（2）イ よりよい人間関係の育成

2 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童は、普段から困っている友だちに優しく声をかけたり手助けしたりする姿が見られる。係活動や当番活動においても、友だちと協力したり創意工夫したりして活動している。

学級活動においては、4月に児童や保護者、担任の願いを盛り込んだ学級目標を設定し、その上で1学期の個人目標を意思決定した。また、現在の自分の課題を見つめ、自分に合った具体的な解決方法や目標を意思決定し、実践したり振り返ったりする活動を繰り返す中でよりよい自分を目指そうとする児童が増えてきた。

しかし、一人ひとりがそれぞれのよさを発揮しながら活動しているものの、互いのよさやがんばりを認めたり褒めたりする機会は少なく、事前アンケートからも、自分のよさを見付けたり伝えてもらったりする児童が多くないことが分かった。以上のことから、自分や友だちのよさを知り、そのよさがよりよい人間関係の形成に結び付いていくこと、よさを発揮して学習したり活動したりすることで、学校生活が楽しく向上していくことを実感させる必要がある。

（2）題材設定の理由

児童にとって自分自身のよさを客観的に見ることは難しく、自信をもてないでいることが少なくない。そこで、本題材では、友だちや周りの人との関わりを通して自分や友だちのよさに気づき、互いによさを伝え合い認め合うことでよりよい人間関係の形成を目指す。友だちのよさに目を向ける方法を話し合うことで、互いのよさを発見することができることから、自分のよさについても見つめることができ、自己実現への基盤づくりにもつながると考える。温かい人間関係を育むこととともに、今後の社会生活の中で自分らしく生きていくために、学びの意義と必要性を身に付けられるようにする。実践後も、帰りの会などに交流の場や振り返りの場を設定し、通信で家庭にもお知らせしながら、継続的な活動として取り組んでいきたい。

3 育成を目指す資質・能力

知識及び技能	互いのよさを見付け、違いを尊重し合い仲よくしたり信頼し合ったりして生活することのよさや大切さを理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
思考力、表現力、判断力等	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、進んで課題解決に取り組む、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

5 研究にかかわって

◎知る力	自他のよさや可能性を知る。 ・よさを見付ける方法を知り、自分や友だちのよさに気付く。 【知識・技能】
高める力	自分の力を高め、実践する。
◎つながる力	他者にはたらきかける。 ・友だちとの関わりを通して、よさを見付ける活動に進んで取り組んでいる。 【思考・判断・表現】

〈「知る」「つながる」ための手立て〉

(1) グループでの伝え合い

互いのよさを見付ける意欲を高め、方法について考えられるようにするために、グループでよさを伝え合う機会を設定する。

(2) 実践の発表

互いのよさを認め合ったり意欲を高めたりするために、帰りの会で発表する場を設定する。

(3) 振り返りカード

実践の振り返りを記述させることで、学習の意義や必要性を確認できるようにし、実践の継続化を図る。

6 事前の指導

児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
1 アンケートに記入する。 2 絵本「きらきらさがし」の読み聞かせを聞く。 3 友だちのよさを書く。	・自分や友だちのよさへの関心を想起できるよう助言する。 ▷ アンケート ・日常の中の自他のよさやがんばりについて考えるきっかけを与える。▷ 絵本 ・よさを事前に見付けることで課題への意識を高められるようにする。▷ きらきらカード	◇アンケートに回答することで、現状を振り返り、自分を見つめることができている。 【思考・判断・表現】 (アンケート)

7 本時の指導

(1) ねらい

仲よく信頼し合って生活することの大切さを理解し、互いのよさを見付ける方法を考え意思決定し、実践につなげることができる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
つかむ 8分	<p>1 題材の把握</p> <p>(1)アンケートをもとに、現状を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさがわからない。 ・よさを伝えてもらったことがある。 <p>(2)他者から見付けてもらったよさの動画を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなよさがあったのか。 ・自分で見付けられないけれど、友だちのよさは見付けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から実態を把握させ、本時の学習の意義に気付かせる。 ・成果を認めながら、個人、または学級の課題に気付き、自分や友だちのよさを知りたいという意欲を高める。 <p>▷ アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や下級生、上級生から見付けてもらったよさの動画を見ることで、もっと自分や友だちのよさを知りたいという意欲を高める。 	<p>◇題材を自分事として捉え、課題をもっている。</p> <p>【態度】 (アンケート)</p>
<p>きらきらハンターになる方ほうを考え、作せんをきめよう。</p>			
さぐる・見つける 22分	<p>2 必要性の実感</p> <p>自分や友だちのよさを知ることのメリットについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やる気が出る。 ・嬉しい。 ・～のようにもっと得意になりたい。 <p>3 解決方法の話し合い</p> <p>(1)友だちとの関わりを通して、自分や友だちのよさを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いた友だちのよさをグループで伝え合ったり全体で発表したりする。 <p>(2)よさの見付け方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動、ふわふわ言葉、得意なこと、努力していることなどをよく見る。 ・勉強時間や休み時間、係活動や当番活動をしている時、朝や帰りの時間などに見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちのよさに気付くと、様々なことをがんばることができ、それがよりよい学級、さらにはよりよい学校生活につながることに気付かせる。 ・自分で気付くことが難しいから他者（友だちや先生、家族など）との関わりで知ることには気付かせる。 ・よさを見付けるときの大事な視点を考えさせる。 ・自分だけではなく学級全体がよりよい生活ができるよう、多くの考えを引き出すようにする。 	<p>◇自分や友だちのよさをみとめることの意義について理解している。</p> <p>【知識・技能】 (発言)</p> <p>◇友だちとの関わりを通して自分や友だちのよさに気付いている。</p> <p>【知識・技能】 (カード記述・発言)</p> <p>◇☆よさの見付け方について大事なことを話し合っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (発言)</p>

決める 15分	4 個人目標の意思決定 (1)自分のめあてを決める。 (2)めあてを発表し合う。 (3)本時の振り返りをする。 ・ これからがんばりたいこと	・ 話し合いで見つけた解決方法をもとに、自分に合った取組を決めさせる。 ▷ めあてカード ・ 決めためあてを発表させ、意欲を高めさせる。 ・ 決めためあてを大切にするとともに、最後まで粘り強く取り組むことを確認する。	◇「なりたい自分」に向けて自分の思いを意思決定することができる。 【思考・判断・表現】 (カード記述・発言)
------------	--	---	---

8 事後の指導

児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
(1)実践する。 ・ よさを見付ける活動に取り組む。 ・ 取り組んだ内容を発表する機会を設ける。 (2)振り返り ・ 取り組みについて振り返り、継続して取り組む。	・ 決めためあてを大切にしてい見付けていることを認め、称賛することで、意欲を高める。 ☆よさを見付ける意義や必要性を、学年通信を通して家庭にも伝え、連携を図る。 ・ 1週間程度実践し、振り返る機会を設定する。また、継続した実践になるように助言し、実践意欲の継続化を図る。 ▷ 振り返りカード	☆進んでよさを見付ける活動に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 (行動観察、実践カード) ◇実践を振り返り、今後の生活に生かそうとしている。 【態度】 (行動観察、振り返りカード)

9 板書計画

自分のよさ・友だちのよさを はっ見しよう

きらきらハンターになる方ほうを考え、作せんをきめよう。

つかむ

さぐる

見つける

アンケート結果

- ・ やる気が出る
- ・ がんばれる
- ・ もっととくいになりたい

こんな時
 ・ 朝や帰り
 ・ 勉強時間
 ・ 休み時間
 ・ そうじ
 ・ かかりや当ばん
 ・ じどうかん

とくいなこと

ふわふわことば

どりよくしていること

こうどう

ぼく・わたしは、
 (どんな時に)友だちの _____ を
 きらきらハンターします！

決める